

令和2年度第1回 流山市環境審議会 議事要旨

日 時： 令和2年7月3日（金） 14時00分～15時00分

場 所： 流山市役所第1庁舎3階 庁議室

出席委員：

赤坂郁美委員、佐藤秀樹委員、和田まつゑ委員、須賀武司委員、和田登志子委員、横田輝雄委員、井上菊夫委員、高橋信行委員、今井泰彦委員

事務局：

大島環境部長、小野環境部次長兼クリーンセンター所長、伊原環境政策課長、阿部環境政策課長補佐、房野環境政策係長、林環境保全係長、関根主任主事

傍聴者：

1名

議 題：

（ア）前回の指摘事項について

（イ）第3期流山市地球温暖化対策実行計画の評価と課題

（ウ）その他

配 布 資 料：

資料1 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）策定スケジュール

資料2 前回の指摘事項について

資料3 第4期流山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）【案】

発言者	要旨
会長の欠席について	
事務局	新保会長が欠席のため、赤坂副会長に議事の進行をおこなっていただく。
(議題ア) 前回の指摘事項について (資料2)	
事務局	<p>前回の審議会の指摘事項について対応案を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定の案を作成し、議論すべき点を取りまとめて審議会に諮る。 ・計画内の背景に、SDGSの視点と子育て世代に対する責任について記載する。 ・国の目標を考慮するが、流山市の人口増などの特性を踏まえて目標設定する。また、廃棄物由来のCO2排出量の算定方法の見直しを考えているため基準年度は2019年度としたい。 ・点検・評価の流れがわかるよう図を修正する。
赤坂副会長	事務局から説明があったが、意見や質問はあるか。
今井委員	基準年度の設定年度については、第3者から見て、国の基準年度と違う理由が説明できれば問題ないと思う。
横田委員	環境マネジメントシステムに基づいて継続的改善をするために、内部環境監査を実施するということであると思う。ここで不適合という評価があった場合、再度外部委員会を開催して、確認し改善・提案までおこなっていただきたい。改善・提案まで出来上がっていないとPDCAが出来上がっていないように思える。
事務局	検討する。
(議題イ) 第3期流山市地球温暖化対策実行計画の評価と課題	
事務局	<p>第3期流山市地球温暖化対策実行計画の評価と課題について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出量については、平成29年に環境省が策定したガイドラインに基づいて算定している。 ・総排出量は、2015年度から2018年度まで増加しているが2019年度は基準年度比で0.2%減少し

ている。削減目標である1.7%以上削減の達成には年間493t-CO₂の削減が必要。

- ・排出構成については、基準年度比で廃棄物の焼却が4.1%減となり目標達成、廃棄物の焼却以外は7.5%の増加となっており目標達成できなかった。

- ・廃棄物の焼却に伴う温室効果ガスの排出量については、人口増加とともにプラスチックの焼却量が増加し2018年度までは増加しているが、2019年10月から新しい破袋機を導入したことからプラスチックの資源化が進み、プラスチックの焼却量が減少したことが考えられる。

- ・廃棄物焼却以外の温室効果ガスの排出量の増加については、平成27年におおたかの森小中学校、平成28年にキッコーマンアリーナの新設、児童数増加による校舎拡張及び空き教室の活用、自治会のLED防犯灯が市に移管となったこと等が燃料や電気使用の増加に影響をあたえている。

- ・廃棄物の焼却以外による温室効果ガスの排出構成は、電気使用64.2%、都市ガス18%、灯油13%、その他ガソリン等は2%以下となっている。排出割合の多いところを削減していくことが効果的であると考えている。

- ・灯油・ガソリンは排出削減目標を達成しているが、その他の都市ガス・軽油・A重油・LPGは達成できなかった。廃棄物の焼却以外の温室効果ガスの排出構成で一番大きな割合を占めていた電気については基準年度比14.4%増と達成できませんでした。

- ・増加の原因としては、都市ガスは平成24年度以降ESCO事業導入により、空調をガス空調に更新している。また平成26年度から平成27年度にわたり、小中学校へエアコンを導入しており増加量が大きくなっている。

- ・灯油については使用量のほとんどがクリーンセンター

の炉の管理に係るもので減少傾向である。

- ・ガソリンは、主に公用車で使用されており低燃費車の導入により減少傾向にある。

- ・軽油は、消防車両等の作業車で使用されている。人口増や台風災害等の影響で増加傾向にある。

- ・重油は、非常用自家発電で使用されるもので、災害訓練で使用する分のみです。

- ・LPGは学校給食や公民館、消防署等で使用されていて減少傾向にある。

- ・電気使用量は人口増による新施設の増加及び施設使用量の増加の影響が大きい。

- ・間接的に温室効果ガスの削減につながる項目については、全て達成できていない状況である。

- ・水道使用量については、新施設の開設が大きく影響している。市庁舎の廃棄物発生量についても人口増による市役所事務量が増加したため古紙等の廃棄物が増加したことが要因である。用紙の使用量については全庁的に増加していますが、特に児童数の増加によって教育部門の増加が著しい。グリーン購入については、代替できないもの等の特別な事情により、目標達成できていません。

- ・課題として、2019年度には温室効果ガスの排出量の総量は減少したが、削減目標の達成にはさらに年間493tCO₂の削減が必要である。

廃棄物の焼却以外による温室効果ガス排出量の増加率が大きく、特に電気使用による割合が大きいため、環境配慮型の電力調達の推進等が必要である。また、施設改修や設備更新の際には省エネ対策を推進し、環境マネジメントシステムの効果的な運用についても検討が必要である。

一般廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量については、「流山市一般廃棄物処理基本計画」に基づく施策3Rを進め、プラスチック焼却量を増やさないと必要で

	ある。灯油の使用量の削減については、クリーンセンターの長寿命化の際に考慮する必要がある。
赤坂副会長	事務局から説明があったが、意見や質問はあるか。
和田（登） 委員	グリーン購入について、目標は高く100%としているが基準年度で88.4%、2019年度で74.1%ということで達成する可能性のない目標はやる気をなくさせるのではないか。 現実的にグリーン購入品に代替できないものがあるということであれば、達成するための目標を設定する方が良いかと思う。 100%という数字は国の指針であるか。
事務局	国はグリーン購入法で義務としておこなっている。市の立場では努力義務となっているが近隣の市町村が100%としており合わせてこの目標となっている。
和田（登） 委員	国の目標は100%であるが、市の目標値を考えた時に現状を鑑みて目標をたてたほうが良いのではないか。 人口増加してもごみは増やさないのが理想だと思うが、現実的には人口割りして一人当たりのごみ排出量を増加させない方が市民への達成目標として取り組みやすく思える。
事務局	ご意見のとおりだと思う。
赤坂副会長	この件について、今後の課題ということでしょうか。
事務局	はい。
高橋委員	流山市の状況として、人口の増加率が非常に高い。生活レベルが同じであれば人口が増加するとごみの排出量もエネルギー使用量も増加すると思われる。 2019年度に新しい破袋機を導入したことによってごみの焼却に伴う温室効果ガス量が減少している。市の施策によって総排出量の維持が出来るのではないかと思う。市の施策をやらない限りは、人口が増加していくと排出量が増加していく状況になり環境に対する影響がかわらないのではないかと思う。出来る出来ないかは項目

	<p>によって違うかと思うが、大目標としては人口が増加しても総排出量を減少させていくという目標を掲げていても良いのではと思う。</p> <p>決して出来ないことではないことだと思う、市民への協力が不可欠だと思うが総排出量を増やさないという目標が大前提でないかと思う。</p> <p>施設が増加してもエネルギー使用量が増加しない対策をとっていくことを項目として示してもらえれば市民として協力していけるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>一般廃棄物処理基本計画でごみの推計値を算出している。一般廃棄物処理基本計画の数値と本計画のごみの数値の整合性を図って使用していく。</p> <p>高橋委員の意見についても検討していく。</p>
井上委員	<p>人口増加・施設増加しても総排出量は増えないというのは理想論である。</p> <p>本当に不可能であるということであれば、対策をした場合としなかった場合を示して目標値を設定するといった工夫が必要である。</p> <p>白書等で公表するにあたって、不可能である目標で達成できていないということでは市民感情として納得がいかないと思う。</p> <p>電気の使用量で、自治会のLED防犯灯が市に移管したとのことであれば、市の排出量としては増加し、自治会の排出量としては減少している。市全域の総排出量としては変わらないということを伝えても実態を正確に把握できて良いのではないかと思う。</p> <p>元号と西暦は統一した方が読みやすい。</p> <p>第1章策定の背景について、前回の意見を入れて良いと思うが長いので整理したほうが良いのではないか。</p>
赤坂副会長	<p>小見出しをつけるとか、年号も併記するか統一するかで読みやすくなると思う。</p> <p>各委員の意見の中に今後の課題もでてきたと思うがいかが</p>

	がか。
事務局	<p>ごみの排出量と用紙の使用量については、生徒が増加すると生徒に伴う学校や学童等の場所での使用が増加する。努力はしても削減が難しい状況である。</p> <p>実情を踏まえた目標値の設定を検討したい。</p> <p>電気使用については、一番の増加理由として施設の新設である。電気使用に伴う温室効果ガスを削減するような施策が重要である。</p> <p>元号についても統一してわかりやすくする。</p>
井上委員	市の職員が一生懸命やっていく中で、不可抗力で排出量が増加したということであれば注意書きでわかるようにしたほうが良いのではないか。
今井委員	表４－２の総排出量の達成状況について、２０１８年度と比べると廃棄物の焼却も燃料の使用に伴う温室効果ガスが減少しているように思えるが達成できていないというのは。
事務局	２０１４年度が基準年度であり、基準年度と比べると廃棄物の焼却以外からの排出量は増加している。
横田委員	各々の部署が本計画を徹底管理されていることが重要である。定期的に具体的データを提出していただきたい。クリーンセンターではプラの混入量とかごみの焼却量等のデータがホームページ上に掲載されている。電気や燃料については公表されていない。ぜひ公表していただきたい。
事務局	はい、わかりました。
佐藤委員	市民の人たちが地球温暖化の状況を考えてどう行動してもらおうかという具体的な市民の行動計画とかはこの計画に盛り込まないのか。
事務局	<p>本計画は、市役所の率先実行計画で事務事業編というものになる。市民の行動計画といったところでは、来年度以降に着手する区域施策編に盛り込むことになる。</p> <p>市役所の事務事業ということでクリーンセンターのごみ</p>

	<p>の焼却に伴う温室効果ガスが入り市民に関係しているところであるが、事務事業編では、職員が率先して実行していくという計画になる。</p>
赤坂副会長	<p>今後の課題となる意見が多くでたので、事務局で検討していただきたい。</p>
事務局	<p>はい。</p>
<p>(議題ウ) その他</p>	
事務局	<p>墓地の基準については市の条例で定められている。墓地の拡張ができるようにするため、条例を改正して基準を満たすようにすることを検討したい。</p> <p>環境審議会長と相談し、環境審議会に諮問させていただきたいと考えている。</p> <p>次回の審議会については10月を予定している。</p>
事務局	<p>墓地の条例について、具体的なスケジュールとして3月の議会で議案として提出したい。</p> <p>そのためには年内に諮問・答申まで進めていきたい。</p> <p>具体的な審議会の日程については、また設定させていただき連絡する。</p>
今井委員	<p>野田市の環境審議会に委員として参加したときには、空地がどんどん墓地になってしまっているという問題があり、規制強化のために条例改正した。</p>
大島部長	<p>流山市では、平成20年度に規制を強化するため条例を改正しており、新しく墓地を簡単に作れないようにしている。</p> <p>現在の条例では、既存の寺の隣接地にしか墓地を作れないようになっており住宅地から50m・100mといった要件があつて実際には拡張が出来ない状況である。人口が増えて市民の多様な要望のなかに市内で墓地をもちたいという方もいる。</p> <p>新規での墓地を作ることではなくて、既存の寺の墓地拡張について柔軟性を持たせることは出来ないかということ審議会に審議していただきたい。</p>

井上委員	<p>コロナの関係でテレワークが推進されると家庭からのごみの排出が増加する。</p> <p>人口増のみだけでなくテレワークによる影響がでる可能性も含めて目標を設定するかどうかを考えなくてはならない。</p>
赤坂副会長	<p>現在、状況が刻々と変わっていくなかで、流山市は人口が増加しているという特有の背景があるので考慮していく必要がある。</p>
和田（登）委員	<p>コロナの時期で市役所職員がテレワークをしている方もいる。そうであると市役所内のごみとかは減っているのではないかと思う。文書管理も紙ではなくデータでのやり取りになればごみの量がさらに減ると思われる。今後のごみ減少に向けてしっかり取り組んでいくことが必要である。コロナを機会に、今後の対策等を考えていってはどうかと思う。</p>
大島部長	<p>在宅が増えることでごみの量が増加するのではないかとということと、区域で見るとコロナの影響で経済活動が停止しエネルギー使用量が減ったということがあると思う。まだ、はっきりとした情報が出ていないためわからない部分も多いが今後も情報を収集していく。</p> <p>今いただいた御意見についても参考にさせていただく。</p>
高橋委員	<p>今回の資料のように項目ごとに箇条書きにするなどわかりやすい形でまとめていただきたい。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
赤坂副会長	<p>本日の議事は終了したので本日の審議会は以上とする。</p>
<p>閉会</p>	